



やまぶき

一関市立大原小学校 校報 No. 32

2025.12.5 文責：校長 松田

学校も冬の装いに

12月に入り、いよいよ師走を迎えました。学校の昇降口には、華やかなクリスマスツリーが飾られ、子供たちの心を弾ませています。外では雪が積もり、元気いっぱいに駆け回る子供たちの笑い声が、冬空に響いています。

今年も残りわずかとなりました。特にこの時期は、体調を崩しやすくもありますが、残り2週間程度の学校生活を、子供たちが元気に過ごし、毎日笑顔で登校してくれることを心から願っています。

この冬も、一日一日を大切に、子供たちと共に楽しい思い出をたくさん作りながら、心温まる日々を送っていきたいと思います。



赤い羽根共同募金(児童会)

児童会執行部が、朝の昇降口で赤い羽根共同募金を呼びかけています。募金してくれた人には「ありがとうございます」と心を込めて感謝の気持ちを伝えています。

この活動を通して、子供たちは思いやりの心や助け合いの大切さを学んでいます。身近なところから人を助ける喜びを感じ、優しさを育んでいます。ご家庭のご協力にも感謝いたします。



なかよし班遊び(12月)

12月に入り、寒さが本格化する中でも、子供たちは元気いっぱいです。12月3日(水)になかよし班遊びが行われ、全ての班が校庭に集まり、思いっきり体を動かして遊びを楽しみました。



「学力アップチャレンジ週間」の結果

先月実施した「学力アップチャレンジ週間」の報告をします。この取り組みは、学習時間をしっかりと守り、メディア利用時間をコントロールすることで、子供が自ら学ぶ力を向上させることを目的としています。

「学習時間を守る～いいリズムで学びに向かう～」

この1週間で「学習時間を守れた」児童は、全学年平均で 60% (◎) という結果でした。さらに 30% (○) の児童も目標に近い形で取り組めており、多くの児童が時間をうまく使うことができました。

家庭での声掛けやサポート、そして子供自身の頑張りのおかげで、学習に取り組む姿勢が整えられたようです。「時間を区切ることで勉強がしやすくなった」「目標を持ってできた」というポジティブな声もたくさんありました。

「セーブメディア～メディアとうまく付き合う～」

こちらも全体平均で 55% (◎) 33% (○) という結果に。半分以上の児童が、日々メディア利用を意識して過ごしていました。一方で、「もう少し」と感じた人もいました。特に休日は、少しルールを守るのが難しい場面もあったようです。「メディアを控えるのと同時に、どんな時間を過ごすか」という工夫が、次の目標になりそうです。

「おうちの声と課題」

家庭学習カードに寄せられた保護者の方からの声を見ると、「兄弟と声を掛け合いながら学べた」「毎日決まった時間に取り組む習慣ができた」といった前向きなコメントがたくさんありました。本当にありがとうございます。一方で、「休日はついメディアを見すぎてしまった」「学習の時間を確保するのが難しかった」という感想もいただき、時間のバランスについて引き続き取り組む必要があると感じました。

「次回に向けて」

今回の結果から、「短時間でも集中して学ぶ環境の工夫」や「家族で楽しむ時間作り」が大きな鍵になりそうです。お子さまといっしょに、楽しみながら取り組める方法や内容を考えてみてはいかがでしょうか？学校でも、子供たちが「もっと学びたくなる」仕掛けをこれからも考えていきたいと思います。今後も改善が見られるように一緒に取り組んでいきましょう！

保護者の皆さまのご協力に心から感謝申し上げます。
お子さまの健やかな成長を支えるために、今後ともどうぞ
よろしくお願ひいたします！



標準学力検査(CRT)を実施

12月3日・4日の両日に、本校では標準学力検査(CRT)を行いました。この検査は、国語と算数の基礎学力を測ることが目的で、子供たちは集中して問題に取り組み、一問一問真剣に解こうとがんばっていました。

検査の結果が出た後、理解が十分に進んでいない内容については補充指導を行い、次の学習につなげていきます。また、先生方は結果を分析し、授業の内容や教え方をより良くするために役立てていきます。なお、検査結果は3学期に各家庭にお知らせする予定です。